第1回がん相談研究会

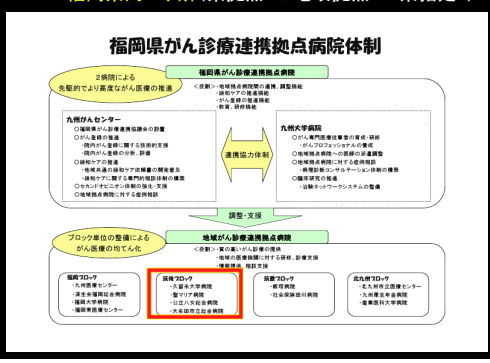
街中「がんサロンちっご」の立ち上げ
～筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会の実践報告～

1 はじめに
2 「がんサロンちっご」の紹介
3 活動実績・アンケート結果
4 考察・結果
5 今後の課題

2012年3月24日
筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会
地方独立行政法人　大牟田市立病院
MSW　北嶋　晴彦

福岡県筑後地区はココ です。

福岡県がん診療連携拠点病院体制（平成24年2月現在）
全国388ヶ所（県拠点51＋地域拠点337）
福岡県内18ヶ所（県拠点2＋地域拠点13+県指定3）



筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会

大牟田市立病院　（4人）※左記「」内はスタッフ数
　大牟田市　350床（一般）　29診療科

久留米大学病院　（3人）
　久留米市　1098床(一般 1045／ 精神 53）26診療科

公立八女総合病院　（3人）
　八女市　330床（一般）19診療科

聖マリア病院　（3人）
　久留米市　1354床（一般1188／精神60／療養100）　27診療科

✓ 2008年1月より毎月1回の連絡会議
✓ 情報共有→地域医療機関のがん調査→がんサロン運営
✓ 会則作成（第1～8条）　2010年5月26日

「がん対策推進基本計画」に掲げられている「がん専門相談員」の役割

✓ 相談支援に関し十分な経験を有する看護師等の医療従事者や患者団体等との連携について検討する

✓ がん患者本人はもとより家族に対する心のケア（精神的支援）が行われる相談支援体制を構築してゆく

✓ がん患者や家族等が、心の悩みや体験等を語り合うことにより、不安が解消された、安心感につながったという例もあることから、こうした場を自主的に提供している活動を促進してゆくための検討を行う

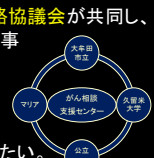
「がん専門相談員のための学習の手引き～実践に役立つエッセンス～」2008年9月　国立がんセンターがん情報センター

「がんサロンちっご」の紹介①

※「ちっご」とは福岡県筑後地域を表す方言

目　的：　がん患者やその家族等に相談交流できる場を設け、参加者同士で情報交換を行い、悩みや不安を取り除くことで生活の質向上に寄与することを目的とする。

特　徴：　筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会が共同し、街中にがんサロンを新規に立ち上げた事



各がん拠点病院の所在地で、がんサロンを運営したい。
→ ニーズは本当にあるの？
→ 運営のノウハウがない
→ みんなで久留米市で立ち上げよう

「がんサロンちっご」の紹介②

※「がん患者サロンの取り決め」より

目　的：がん患者・家族の交流　情報交換　生活の質向上

対象者：がん患者　患者家族
（年齢・地域・疾患・受診医療機関の制限なし。名前は匿名でも可）

開催日：毎月第2土曜日　14時～16時　平成22年10月開始

場　所：久留米市中心街のショッピングモール（くるめりあ六ツ門6階）

運営主体：筑後ブロックがん相談支援センター連絡協議会
→2011年4月より患者スタッフが運営に参画
「虹の会」・・・　午後2時開始。虹のイメージ。

「がんサロンちっご」の紹介③

主な内容：ミニ講演（30分）＋患者・家族交流会（90分）

参加ルール：やってはいけないことを規定（一部）
①他人のプライバシーを侵す行為
②宗教・思想などの押しつけ・営利目的活動
③サロン内で得た情報を勝手に口外すること（個人情報保護）

活動評価：参加者アンケート実施

運営費：4万円（1万円×4病院/平成23年度）＋個人寄付金
※会社（団体）からの寄付依頼はあるが現在は見送り

広　報：行政機関・マスコミの利用　各病院の広報活動

後　援：久留米市、高等教育コンソーシアム久留米、大牟田市、他

「がんサロンちっご」の紹介④

「がんサロンちっご」の紹介⑤

ミニ講演の演題（一部）

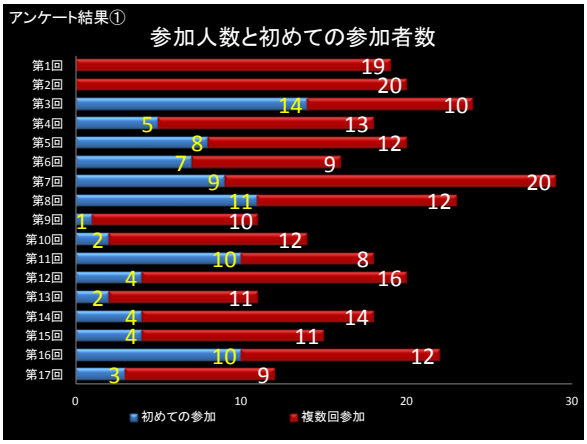
がん患者の味方！ がん相談支援センター！！	「抗がん剤治療中のスキンケア」 認定看護師
「緩和ケアってなんね？」 医師（麻酔科）	「放射線治療ってなあに？」 医師（放射線）
「がんってなん？うつっとね？」 医師（外科）	「おいしく食べる工夫」 NST専門療法士
「がん治療と経済的負担の軽減」 MSW	「がん告知後の心の持ち方」 診療心理士
「がん治療後のむくみ」 看護師	「在宅医療と訪問看護」 訪問看護師
「がん告知後10年を振り返って」 患者会代表	「家族としての体験談」 患者家族

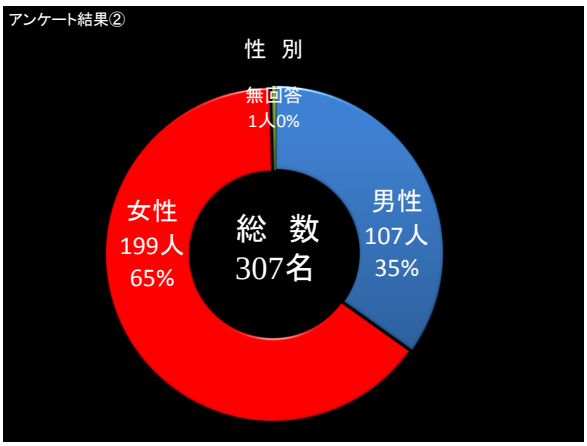
「がんサロンちっご」の紹介⑥

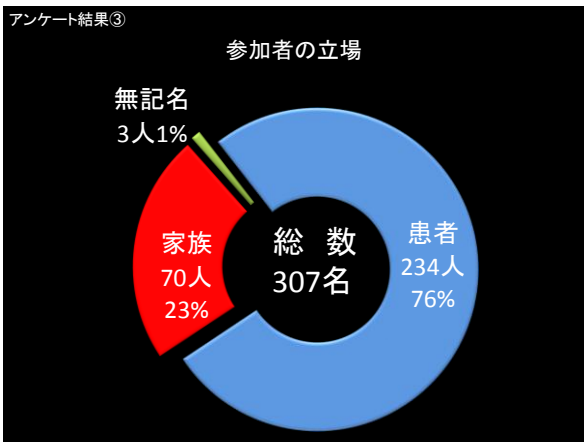
がんサロン開設までに準備したこと（ポイント/一部）

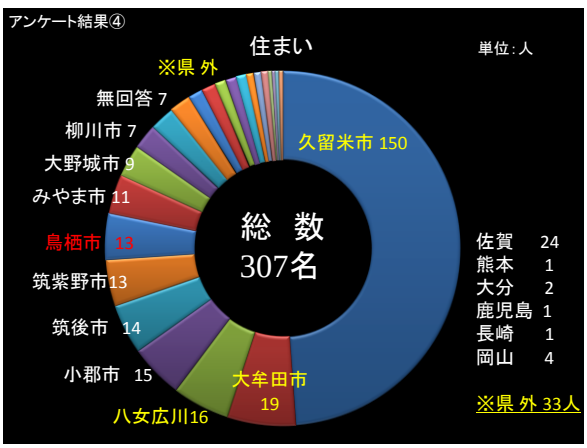
- ✓ 約15回の準備会議（開催は月1回）
- ✓ 会場探し（アクセスと利用金額）
- ✓ 連絡協議会の会則作成（第8条）
- ✓ がん患者サロンの取り決め（15項目）
- ✓ ポスター作りと広報活動
- ✓ アンケート作成
- ✓ ミニ講演計画と講師調整
（講師代は交通費程度のみ支払い）
- ✓ スタッフは業務（勤務）扱い

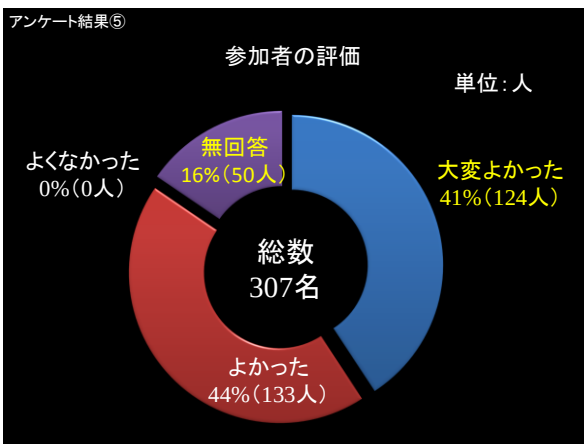
アンケート結果①

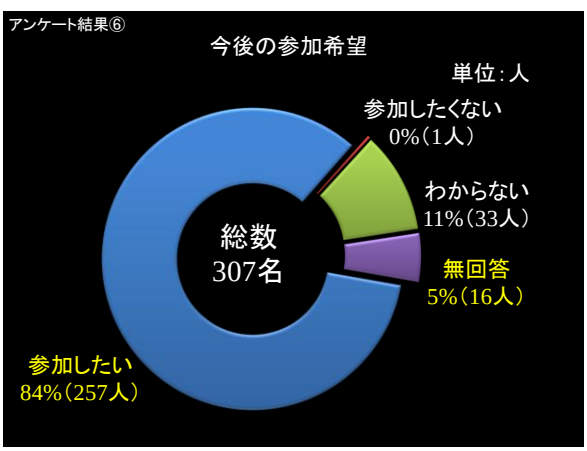


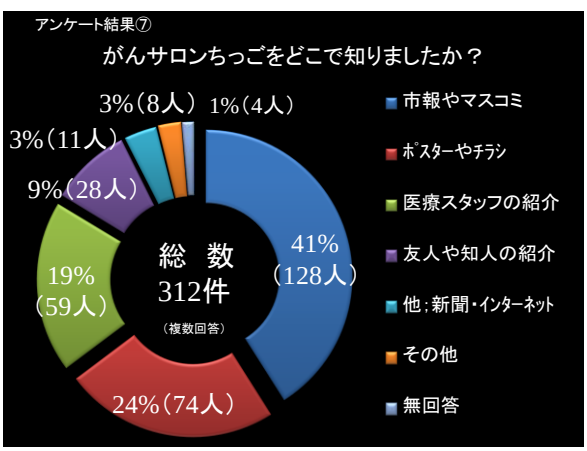

アンケート結果②
性　別
無回答
1人0%
女性
199人
65%
総　数
307名
男性
107人
35%


アンケート結果③
参加者の立場
無記名
3人1%
家族
70人
23%
総　数
307名
患者
234人
76%


アンケート結果④
住まい
単位：人
※県 外
無回答 7
柳川市 7
大野城市 9
みやま市 11
鳥栖市 13
筑紫野市13
筑後市 14
小郡市 15
八女広川16
大牟田市
19
久留米市 150
総　数
307名
佐賀 24
熊本 1
大分 2
鹿児島 1
長崎 1
岡山 4
※県 外 33人


アンケート結果⑤
参加者の評価
単位：人
よくなかった
0%（0人）
無回答
16%（50人）
大変よかった
41%（124人）
総数
307名
よかった
44%（133人）


アンケート結果⑥
今後の参加希望
単位：人
参加したくない
0%（1人）
わからない
11%（33人）
無回答
5%（16人）
総数
307名
参加したい
84%（257人）


アンケート結果⑦
がんサロンちっごをどこで知りましたか？
3%（8人）
1%（4人）
3%（11人）
9%（28人）
19%
（59人）
総　数
312件
（複数回答）
41%
（128人）
24%（74人）
市報やマスコミ
ポスターやチラシ
医療スタッフの紹介
友人や知人の紹介
他：新聞・インターネット
その他
無回答

アンケート結果⑧

フリーコメント（一部）

- ✓ 自分一人じゃないとわかり参加して良かった
- ✓ 少しだけストレスが解消できた。順次参加して話を聞きたい
- ✓ 経済的負担を軽減する社会資源を知りたい
- ✓ 病気になった者でないとわからない気持ちが話せてよかった
- ✓ できれば患者同士とか家族同士とか分かれて話し合いをしたい
- ✓ 話したり聞いたりすることにより精神的に気持ちが軽くなり助かります
- ✓ 医師に話を聞きたいと思ったけれど話せなかった
- ✓ はじめて参加された方が笑顔になられて良かった
- ✓ 皆様の意見を聞きなんとなくホッとしました
- ✓ 今日は新しい方が3人加わり、それぞれ自分の言いたいことを言われてすこしスッキリされたのではないでしょうか？
- ✓ 何かお手伝いできる事がありましたらお声をかけて下さい
- ✓ 毎回来れる事を楽しみにがんばって日々過ごします

考　察

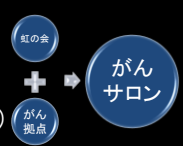
- ✓ がんサロンの評価は良好
- ✓ 患者本人の参加が多い
- ✓ 久留米市を中心として他地区からの参加もある
- ✓ サロンを知った経緯は、市報やマスコミからが多い
- ✓ 病気について医師と話を希望する人多い
- ✓ 正しい治療（情報）を得ることが困難と感じる人が多い
- ✓ 医療費・生活費について悩んでいる人が多い
- ✓ プライバシーには特に配慮をする必要がある

結　果

- ✓ 患者・家族の不安等が軽減され、安心感につながったという事実から、がんサロンのニーズがあることがわかった
- ✓ がん対策推進基本計画でがん相談支援センター（がん専門相談員）に求められている患者支援の（一部が）実現ができた。

今後の課題①

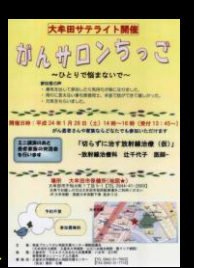
- ✓保健・医療・福祉・行政機関との連携
  →患者や家族の意見を医療の質向上や社会システムに反映させたい
- ✓がんサロンの運営主体の移行
  （協議会→患者・家族主体へ）



- ✓各拠点病院地域でのがんサロンの立ち上げ

第1回　がんサロンちっご　大牟田サテライト開催　実績

日　時：2012年1月28日（土）
場　所：大牟田市保健所（無料）
参加者：13名（患者11名+家族2名）



アンケートより：
住まい　大牟田市　8人　市外5人
参加回数　初参加　9人　2回目以上4人
評　価　大変良い　6人　良い　7人
よくなかった0人
次回参加の希望
参加したい　11人　したくない　0人
わからない　2人

サロンを知った経緯　市報やマスコミ　5人　ポスター　2名
医療者紹介　2人　友人の紹介　1　他3名

第1回　がんサロンちっご　大牟田サテライト開催

広報活動

行政やマスコミへの積極的な協力依頼

行政への協力（後援・広報誌掲載）依頼

マスコミに活動状況を提供

→ 地域の方々に活動をお知らせ

今後の課題②

①活動場所の確保

アクセスの良さ　活動スペース

会場費（18400円/1回） → 12回（22万0800円）

※平成25年3月までは無料で借りる交渉済

②活動費用

事務経費（コピー・通信費など）

人件費（交通費など）

→行政との協力が不可欠

本日はありがとうございました。

「がんサロンちっご」の活動が

患者・家族の生活や

がん医療の質向上に寄与できれば幸いです。